厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)) 難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究(H29-難治等(難)-一般-057) 分担研究報告書

#### 人口動態調査のデータを用いたプリオン病及び進行性白質脳症の死亡動向

研究協力者:小佐見光樹 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門

研究協力者:水澤英洋 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

研究代表者:中村好一 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門

研究協力者:山田正仁 金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学(神経内科学)

研究協力者:齊藤延人 東京大学医学部附属病院・脳神経外科

研究協力者:北本哲之 東北大学大学院医学系研究科・病態神経学

研究協力者:金谷泰宏 国立保健医療科学院健康危機管理研究部

研究協力者:村山繁雄 東京都健康長寿医療センター神経内科・バイオリソースセンター・神経

病理学研究(高齢者ブレインバンク)

研究協力者:原田雅史 徳島大学大学院医歯薬学研究部・放射線科学分野

研究協力者:佐藤克也 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション分野

(神経内科学)

研究協力者:太組一朗 聖マリアンナ医科大学・脳神経外科学

研究協力者:佐々木秀直 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野・神経内科学

研究協力者:青木正志 東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座・神経内科学

研究協力者: 小野寺理 新潟大学脳研究所・神経内科学

研究協力者:田中章景 横浜市立大学大学院医学研究科・神経内科学・脳卒中医学

研究協力者: 道勇 学 愛知医科大学・神経内科学

研究協力者:望月秀樹 大阪大学大学院医学系研究科・神経内科学

研究協力者:阿部康二 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・脳神経内科学

研究協力者:村井弘之 国際医療福祉大学医学部神経内科学

研究協力者:松下拓也 九州大学病院・神経内科

研究協力者:黒岩義之 財務省診療所

研究協力者:三條伸夫 東京医科歯科大学・脳神経病態学

研究協力者:塚本 忠 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院・脳神経内科

研究協力者:田村智英子 FMC 東京クリニック 医療情報・遺伝子カウンセリング部

研究協力者: 高橋良輔 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

研究要旨 本研究班では、特にプリオン病に関して、これまでに疾病登録データベースを用いた疫学研究を行ってきた。しかし、その一方で、人口動態調査のデータを用いたプリオン病及び進行性多巣性白質脳症(Progressive Multifocal Leukoencephalopathy: PML)の死亡動向は、これまでに研究班内から報告されていない。本研究では昭和54年~平成29年の人口動態調査の結果から本邦のプリオン病・PMLによる死亡の動向を明らかにした。

プリオン病・PML の死亡者数は年次を経るごとに増加していた。プリオン病に関しては「プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究」のサーベイランス結果との比較が可能だが、同様の増加傾向を認めていた。近年ではサーベイランス結果によるプリオン病患者数は人口動態調査の結果によるプリオン病死亡者数と概ね同数で推移しており、本邦のプリオン病サーベイランスシステムの捕捉率が十分に高いことを示唆している。PML についても平成30年度よりサーベイランスシステムが稼働しており、データが蓄積すれば人口動態調査の結果との比較が可能になると予想される。

#### A.研究目的

厚生労働行政推進調査事業費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))「プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究」の一環として、本研究班では、特にプリオン病に関して、これまでに疾病登録データベースを用いた疫学研究を行ってきた。しかし、その一方で、人口動態調査のデータを用いたプリオン病及び進行性多巣性白質脳症(Progressive Multifocal Leukoencephalopathy: PML)の死亡動向は、これまでに研究班内から報告されていない。

人口動態調査の調査票情報を分析する目的は、以下の3点に集約できる。(1)人口動態調査データを用いたプリオン病及びPMLの死亡動向を把握する。(2)人口動態調査データとサーベイランスデータによるプリオン病及び PML の疫学像を比較する。(3)サーベイランス体制の患者の捕捉率や今後の課題を明らかにする。

本研究では人口動態調査の調査票情報を 分析し、本邦におけるプリオン病と PML の 死亡動向を明らかにした。

#### B.研究方法

昭和54年~平成29年の人口動態調査(死亡票)から得た全国のプリオン病・PMLによる死亡者のデータを解析した。

プリオン病の定義は昭和 54 年 ~ 平成 6 年 (ICD-9) は原死因符号が 046.1 (ヤコブ・ クロイツフェルト < Jacob-Creutzfeldt > 病) 046.0(クル) 046.8(<中枢神経系のスローウイルス感染の内の>その他)であるものとし、平成  $7 \sim 29$  年(ICD-10)は原死因符号が A81.0(クロイツフェルト・ヤコブ病) A81.8(中枢神経系のその他の非定型ウィルス感染症)であるものとした。

PMLの定義は昭和54年~平成6年(ICD-9)は原死因符号が046.3(進行性多巣性白質脳症)であるものとし、平成7~29年(ICD-10)は原死因符号がA81.2(進行性多巣性白質脳症)であるものとした。

プリオン病と PML について、性・暦年別の死亡者数、発症月別の死亡者数、平均死亡年齢、都道府県別の死亡者数及び標準化死亡比を集計した。

#### C.研究結果

集計結果は後述の表 1 から表 4 にまとめ た。

#### D.考察

昭和 54 年~平成 29 年の人口動態調査の 結果から本邦のプリオン病・PML による死 亡の動向を明らかにした。

プリオン病・PMLの死亡者数は年次を経るごとに増加している。プリオン病に関しては「プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究」のサーベイランス結果との比較が可能だが、同様の増加傾向を認めている。¹)また近年ではサーベイランス結果によるプリオン病患者数は人口動態調査の結果によるプリオン病死亡者数と概

ね同数で推移しており、本邦のプリオン病サーベイランスシステムの捕捉率が十分に高いことを示唆している。PML についても平成30年度よりサーベイランスシステムが稼働しており、データが蓄積すれば人口動態調査の結果との比較が可能になると予想される。

## E.結論

人口動態調査の結果から本邦のプリオン病・PMLによる死亡の動向を明らかにした。

## [参考文献]

1) Nakamura Y ,Ae R ,Takumi I ,et al .

Descriptive epidemiology of prion disease in Japan : 1999-2012 . J Epidemiol . 2015 ; 25 : 8-14 .

### F.健康危険情報

なし

## G.研究発表 (2018/4/1~2019/3/31 発表)

1.論文発表 なし

2.学会発表なし

# H.知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1.特許取得 なし

#### 2.実用新案登録

なし

3.その他 なし

表 1. 各死因の性・暦年別死亡者数

	<b>_</b>																		PML								
				患者	(A81.0)								患者	(A81.8)					患者(A81.2)								
暦年		男			女	1	全体			男				女		全位	<b>‡</b>			男				女	2	全体	
	n	_	%	) n	( %	) n	( %		n	(	%	)	n	( %	) n	(	%	)	n	(	%	_	n	( %	) n	( %	
1979年	12		1	) 10	( 0	) 22	( 0		0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	2	(	2		0	( 0	) 2	( 1	
1980年	22		1	) 20	( 1	) 42	( 1	,	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	,	2	( 2	) 2	( 1	
1981年	13	١.	1	) 19	( 1	) 32	( 1	,	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	,	0	( 0	) 0	( 0	
1982年	20	(	1	) 26	( 1	) 46	( 1	,	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	,	1	( 1	) 1	( 0	
1983年	26	(	1	) 24	( 1	) 50	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	)	2	( 2	) 2	( 1	
1984年	14	(	1	) 25	( 1	) 39	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	1	(	1	)	3	( 4	) 4	( 2	
1985年	15	(	1	) 26	( 1	) 41	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	)	2	( 2	) 2	( 1	
1986年	21	(	1	) 27	( 1	) 48	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	4	(	3	)	1	( 1	) 5	( 2	
1987年	17	(	1	) 20	( 1	) 37	( 1	)	0	(	0	)	1	( 4	) 1	(	2	)	1	(	1	)	1	( 1	) 2	( 1	
1988年	26	(	1	) 37	( 1	) 63	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	1	(	1	)	1	( 1	) 2	( 1	
1989年	28	(	1 )	) 31	( 1	) 59	( 1	)	1	(	4	)	0	( 0	) 1	(	2	)	1	(	1		2	( 2	) 3	( 1	
1990年	29	(	1 )	) 28	( 1	) 57	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	0	(	0	,	2	( 2	) 2	( 1	
1991年	27	(	1	) 33	( 1	) 60	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	1	(	1	)	2	( 2	) 3	( 1	
1992年	27	(	1	) 36	( 1	) 63	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	2	(	2	)	1	( 1	) 3	( 1	
1993年	33	(	2	) 38	( 1	) 71	( 1	)	0	(	0	)	1	( 4	) 1	(	2	)	4	(	3	)	1	( 1	) 5	( 2	
1994年	32	(	2	) 36	( 1	) 68	( 1	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	3	(	3	)	1	( 1	) 4	( 2	
1995年	27	(	1	) 63	( 2	) 90	( 2	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	5	(	4	)	3	( 4	) 8	( 4	
1996年	43	(	2	) 56	( 2	) 99	( 2	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	1	(	1	)	2	( 2	) 3	( 1	
1997年	39	(	2	) 59	( 2	) 98	( 2	)	2	(	8	)	1	( 4	) 3	(	6	)	0	(	0	)	1	( 1	) 1	( 0	
1998年	46	(	2	) 52	( 2	) 98	( 2	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	2	(	2	)	0	( 0	) 2	( 1	
1999年	51	(	2	) 62	( 2	) 113	( 2	)	0	(	0	)	3	( 13	) 3	(	6	)	3	(	3	)	3	( 4	) 6	( 3	
2000年	44	į.	2	) 68	( 3	) 112	( 2	)	0	į (	0	)	1	( 4	) 1	į.	2	)	3	į.	3	)	1	ì 1	) 4	( 2	
2001年	61	(	3	) 61	( 2	) 122	( 3	)	1	(	4	)	0	( 0	) 1	(	2	)	3	(	3	)	2	( 2	) 5	( 2	
2002年	53	(	2	) 80	( 3	) 133	( 3	)	1	(	4	)	0	( 0	) 1	(	2	)	4	(	3	)	2	( 2	) 6	( 3	
2003年	70	(	3	) 71	( 3	) 141	( 3	)	0	(	0	)	1	( 4	) 1	(	2	)	4	(	3	)	4	( 5	) 8	( 4	
2004年	66	į.	3	97	( 4	) 163	( 3	)	3	į (	12	)	1	( 4	) 4	į.	8	)	5	į.	4	)	4	( 5	9	( 4	
2005年	71	į.	3	84	( 3	) 155	( 3	)	1	į (	4	)	0	( 0	) 1	į.	2	)	1	į.	1	)	0	( 0	) 1	( 0	
2006年	69	į.	3	) 103	( 4	) 172	( 4	)	2	į (	8	)	1	( 4	) 3	į.	6	)	5	į.	4	)	3	( 4	8 (	( 4	
2007年	72	(	3	) 98	( 4	) 170	( 4	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	7	(	6	)	3	( 4	) 10	( 5	
2008年	97	(	5	) 109	( 4	) 206	( 4	)	0	(	0	)	0	( 0	) 0	(	0	)	6	(	5	)	4	( 5	) 10	( 5	
2009年	77	ì	4	87	( 3	) 164	<u>(</u> 3		2	ì	8	í	0	( 0	) 2	ì	4	)	5	ì	4	í	2	( 2	7	( 3	
2010年	93	ì	4	) 121	(5	) 214	( 4	,	0	ì	0	)	5	( 22	) 5	ì	10	)	4	ì	3	)	3	( 4	, , ,	( 3	
2011年	106	į.	5	) 111	( 4	217	( 5	)	1	į (	4	)	1	( 4	) 2	ì	4	)	4	į.	3	)	4	( 5	, ) 8	( 4	
2012年	95	i	4	) 140	( 5	) 235	( 5	)	4	ì	16	)	2	( 9	, ) 6	ì	13	)	6	ì	5	)	2	( 2	) 8	( 4	
2013年	111		5	) 135	(5	) 246	( 5	í	5	,	20	í	1	( 4	) 6	ì	13	)	13	ì	11	í	5	(6	) 18	(9	
2014年	114		5	) 129	(5	) 243	( 5	,	1	ì	4	)	1	( 4	) 2	ì	4	)	8	ì	7		5	( 6	) 13	(6	
2015年	121		6	) 143	(5	) 264	( 5	í	0	ì	0	í	2	( 9	) 2	ì	4	)	5	ì	4		2	( 2	) 7	( 3	
2016年	114		5	) 146	(5	) 260	( 5	,	1	ì	4	í	0	( 0	, <u> </u>	ì	2	)	4	ì	3		5	(6	) 9	( 4	
2017年	129		6	) 164	(6	) 293	(6	,	0	ì	0	)	1	( 4	) 1	ì	2	)	1	ì	1		2	( 2	) 3	( 1	
合計	2131	_ \	00	2675	( 100	) 4806	( 100	) :	25	( .	100	)	23	( 100	) 48	ì	100	)	119	(	100	_	84	( 100	) 203	( 100	

表 2. 各死因の発症月別死亡者数

	ブリオン病											PML																		
	患者(A81.0)									患者(A81.8)										患者(A81.2)										
月		男		女			全	体			男	3		女	ζ			全体		_		男				女		- 1	全体	
73	n (	( %	) n	(	%	) n	(	%	)	n	(	%	) n	(	%	)	n	(	% )	)	n	(	%	) 1	n	( %	)	n	( %	6
1月	252 (	( 12	) 327	(	12	) 579	(	12	)	1	(	4	) 6	(	26	)	7	( .	15 )	)	12	(	10	) 1	3	( 15	)	25	( 1:	2
2月	181 (	( 8	) 268	(	10	) 449	(	9	)	2	(	8	) 1	(	4	)	3		6 )	)	7	(	6	) ;	3	( 10	)	15	( 7	7
3月	227	( 11	) 296	(	11	) 523	(	11	)	2	(	8	) 5	(	22	)	7	( '	15 )	)	7	(	6	) (	3	( 7	)	13	( 6	ò
4月	153 (	( 7	) 180	(	7	) 333	(	7	)	3	(	12	) 2	(	9	)	5	( '	10 )	)	11	(	9	)	7	( 8	)	18	( 9	)
5月	159 (	( 7	) 181	(	7	) 340	(	7	)	3	(	12	) 0	(	0	)	3	(	6 )	)	10	(	8	) 4	1	( 5	)	14	( 7	7
6月	180 (	( 8	) 182	(	7	) 362	(	8	)	2	(	8	) 0	(	0	)	2	(	4 )	)	9	(	8	) !	5	(6	)	14	( 7	7
7月	160 (	( 8	) 199	(	7	) 359	(	7	)	2	(	8	) 0	(	0	)	2	(	4 )	)	7	(	6	) ;	3	( 4	)	10	( 5	i
8月	164 (	( 8	) 214	(	8	) 378	(	8	)	1	(	4	) 2	(	9	)	3		6 )	)	11	(	9	) 4	1	( 5	)	15	( 7	7
9月	153 (	( 7	) 190	(	7	) 343	(	7	)	3	(	12	) 1	(	4	)	4	(	8 )	)	9	(	8	) 1	0	( 12	)	19	( 9	)
10月	157 (	( 7	) 210	(	8	) 367	(	8	)	1	(	4	) 3	(	13	)	4	(	8 )	)	9	(	8	) 1	1	( 13	)	20	( 10	0
11月	181 (	( 8	) 211	(	8	) 392	(	8	)	3	(	12	) 2	(	9	)	5	( '	10 )	)	16	(	13	) 4	1	( 5	)	20	( 10	0
12月	164	( 8	) 217	(	8	) 381	_(	8	)	2	(	8	) 1	(	4	)	3	(	6	)	11	(	9	) !	9	( 11	)	20	( 1	0
合計	2131 (	100	) 2675	( '	100	) 4806	6 (	100	)	25	(	100	) 23	(	100	)	48	( 1	00	)	119	(	100	) 8	4	( 100	)	203	( 10	)0

表 3. 各死因の死亡年齢の平均値及び標準偏差\*

	<b>プ!</b>	オン病		PM	L					
	表音(A81.0)	患者(A81.2)								
男	女	男	女	男	女					
平均値 標準偏	差 平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差					
68.9 ± 10.5	70.2 ± 10.3	61.8 ± 8.0	61.1 ± 8.1	57.1 ± 15.4	60.9 ± 14.4					

<sup>\*</sup> 死亡年齢は死亡年月日 - 生年月日で算出した.

表 4. 各死因の都道府県別死亡者数及び標準化死亡比\*

	プリオン病										PML									
-		者(A81.0)	)	Æ	者(A81.8					最者 (A81.2	)									
- 見者の住所地							プリオン病													
(都道府県)	男	女	全体	男	女	全体	全体	標準化死亡比(95%信頼区間)†	男	女	全体	標準化死亡比(95%信頼区間)								
北海道	90	127	217	0	1	1	218	0.98 ( 0.85 - 1.12 )	4	5	9	1.00 ( 0.21 - 3.61								
青森県	22	24	46	0	0	0	46	0.81 ( 0.59 - 1.08 )	0	1	1	0.44 ( 0.00 - 13.75								
岩手県	26	27	53	0	0	0	53	0.96 ( 0.72 - 1.26 )	0	0	0	0.00 (								
宮城県	41	54	95	0	0	0	95	1.10 ( 0.89 - 1.34 )	1	0	1	0.27 ( 0.00 - 8.41								
秋田県	30	31	61	0	0	0	61	1.26 ( 0.97 - 1.62 )	2	1	3	1.64 ( 0.07 - 14.04								
山形県	18	21	39	0	0	0	39	0.80 ( 0.57 - 1.10 )	0	0	0	0.00 (								
福島県	35	39	74	0	0	0	74	0.93 ( 0.73 - 1.17 )	0	0	0	0.00 (								
茨城県	29	46	75	0	0	0	75	0.66 ( 0.52 - 0.83 )	3	2	5	1.06 ( 0.11 - 5.80								
栃木県	28	47	75	0	0	0	75	1.00 ( 0.78 - 1.25 )	1	2	3	0.94 ( 0.04 - 8.06								
群馬県	20	41	61	2	Ó	2	63	0.81 ( 0.63 - 1.04 )	2	1	3	0.94 ( 0.04 - 8.06								
埼玉県	95	121	216	1	Ó	1	217	0.82 ( 0.72 - 0.94 )	9	6	15	1.31 ( 0.73 - 2.16								
千葉県	95	117	212	1	0	1	213	0.91 ( 0.79 - 1.04 )	4	4	8	0.80 ( 0.15 - 3.12								
東京都	208	266	474	2	2	4	478	1.05 ( 0.96 - 1.15 )	19	7	26	1.25 ( 0.82 - 1.83								
神奈川県	145	152	297	0	4	4	301	0.94 ( 0.84 - 1.06 )	10	5	15	1.05 ( 0.59 - 1.74								
新潟県	42	60	102	Ö	0	Ö	102	1.06 ( 0.86 - 1.28 )	1	1	2	0.52 ( 0.01 - 6.83								
富山県	18	25	43	0	0	0	43	0.96 ( 0.69 - 1.29 )	1	0	1	0.57 ( 0.00 - 17.6)								
石川県	17	33	50	0	0	0	50	1.11 ( 0.82 - 1.46 )	2	1	3	1.63 ( 0.07 - 13.9								
福井県	13	14	27	0	0	Ö	27	0.85 ( 0.56 - 1.24 )	1	i	2	1.57 ( 0.02 - 20.4								
抽升宗 山梨県	25	36	61	0	0	0	61	1.82 ( 1.39 - 2.34 )	2	2	4	2.93 ( 0.02 - 20.4								
長野県	39	63	102	0	0	0	102	1.18 ( 0.96 - 1.43 )	6	1	7	2.93 ( 0.21 - 19.2								
				0	0	0														
岐阜県	41	32	73	-			73	0.90 ( 0.71 - 1.14 )	3	1	4	1.22 ( 0.09 - 8.00								
静岡県	93	108	201	0	0	0	201	1.37 ( 1.19 - 1.58 )	1	5	6	1.00 ( 0.13 - 4.74								
愛知県	105	132	237	0	1	1	238	0.92 ( 0.81 - 1.04 )	8	5	13	1.14 ( 0.61 - 1.95								
三重県	38	40	78	0	0	0	78	1.09 ( 0.86 - 1.36 )	2	2	4	1.36 ( 0.10 - 8.93								
滋賀県	30	28	58	0	0	0	58	1.17 ( 0.89 - 1.51 )	3	0	3	1.40 ( 0.06 - 11.9)								
京都府	45	56	101	0	0	0	101	1.00 ( 0.82 - 1.22 )	0	4	4	0.97 ( 0.07 - 6.36								
大阪府	127	156	283	3	3	6	289	0.87 ( 0.77 - 0.98 )	8	2	10	0.71 ( 0.34 - 1.31								
兵庫県	103	115	218	3	0	3	221	1.04 ( 0.90 - 1.18 )	2	3	5	0.56 ( 0.06 - 3.08								
奈良県	24	30	54	0	0	0	54	0.97 ( 0.73 - 1.27 )	2	1	3	1.34 ( 0.06 - 11.4								
和歌山県	20	25	45	0	0	0	45	1.08 ( 0.78 - 1.44 )	0	0	0	0.00 (								
鳥取県	5	8	13	0	0	0	13	0.54 ( 0.29 - 0.93 )	0	2	2	2.13 ( 0.03 - 27.7								
島根県	19	30	49	0	0	0	49	1.60 ( 1.18 - 2.11 )	2	0	2	1.73 ( 0.02 - 22.5								
岡山県	28	46	74	0	0	0	74	0.97 ( 0.76 - 1.22 )	1	2	3	0.99 ( 0.04 - 8.42								
広島県	45	56	101	0	Ó	0	101	0.92 ( 0.75 - 1.11 )	3	2	5	1.11 ( 0.12 - 6.06								
山口県	34	39	73	0	Ó	0	73	1.18 ( 0.93 - 1.48 )	0	0	0	0.00 (								
徳島県	8	12	20	ō	ō	ō	20	0.61 ( 0.37 - 0.94 )	ō	1	1	0.79 ( 0.00 - 24.3								
香川県	22	22	44	0	0	0	44	1.08 ( 0.79 - 1.45 )	2	ò	2	1.25 ( 0.02 - 16.3								
愛媛県	26	32	58	0	Ö	0	58	0.98 ( 0.75 - 1.27 )	ō	1	1	0.43 ( 0.00 - 13.4								
高知県	22	18	40	1	0	1	41	1.25 ( 0.90 - 1.70 )	2	0	2	1.62 ( 0.02 - 21.0								
福岡県	74	120	194	4	4	8	202	1.06 ( 0.92 - 1.22 )	4	5	9	1.13 ( 0.24 - 4.08								
佐賀県	18	20	38	4	3	7	45	1.36 ( 1.00 - 1.83 )	1	1	2	1.51 ( 0.02 - 19.6								
在貝宗 長崎県	34	36	70	0	1	1	45 71	1.36 ( 1.00 - 1.83 )	1	1	2	0.87 ( 0.02 - 19.0								
長崎県 熊本県	32	42	74	0	0	0	74	1.02 ( 0.80 - 1.28 )	1	0	1	0.35 ( 0.00 - 10.7								
	26	31		0	1	1				2	2									
大分県			57				58	1.10 ( 0.00 1.02 )	0	1		1.04 ( 0.01 - 13.5								
宮崎県	18	24	42	0	0	0	42	0.91 ( 0.65 - 1.22 )	1		2	1.10 ( 0.01 - 14.3								
鹿児島県	41	41	82	4	3	7	89	1.29 ( 1.03 - 1.58 )	2	1	3	1.10 ( 0.05 - 9.39								
沖縄県	15	31	46	0	0	0	46	1.04 ( 0.76 - 1.39 )	1	2	3	1.45 ( 0.06 - 12.4								

<sup>\*2014</sup>年10月1日の総務省統計局「人口推計」の結果を用いて計算した.

<sup>†</sup>Byarの式を用いて計算した.

<sup>¶</sup> 死亡者数が 10 例未満の都道府県の標準化死亡比の信頼区間は Byar の式を用いて計算した値を Haenszel の表を用いて補正した.